

《ボカシ(発酵合成型有機肥料)を使って、生ゴミを堆肥に変えてみませんか?》

〔生ゴミ堆肥の作り方〕

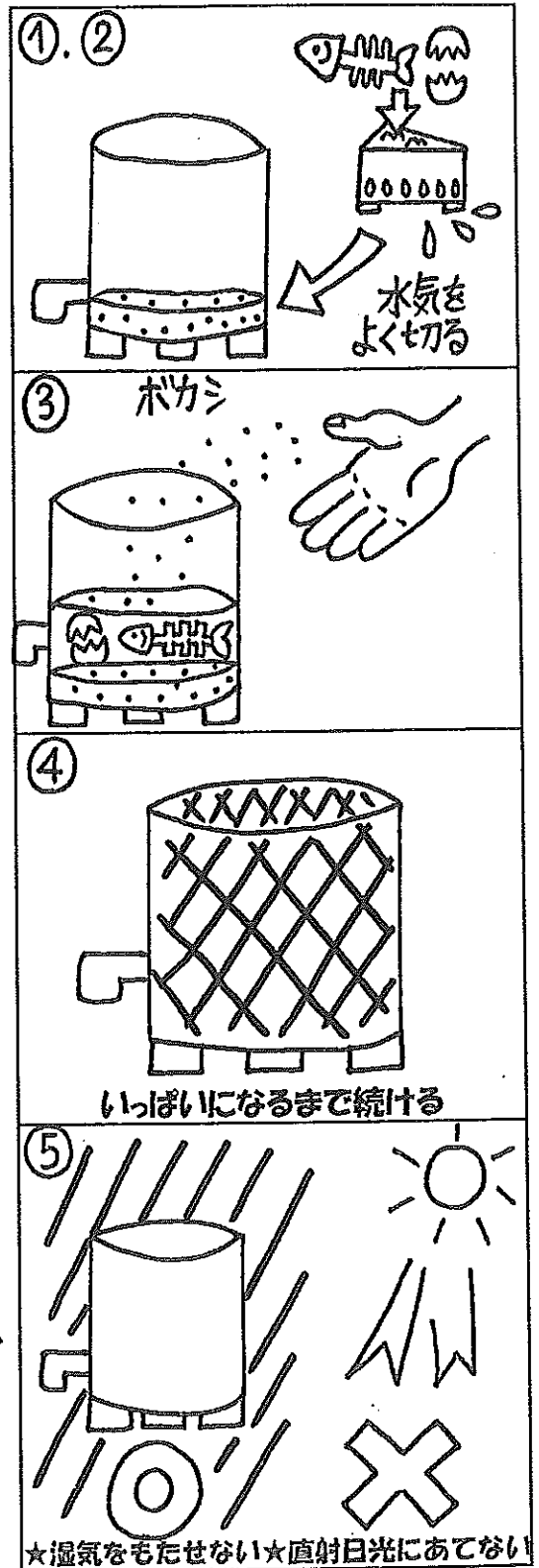
1. 材料

- ・専用の密閉容器(バケツ)……1個
(購入先:ホームセンター又は授産所 1個約2,300円)
- ・生ゴミ(紙・ビニールは入れない)
- ・ボカシ(生ゴミ1kgに対して、10g位)

2個あると
交互に使えて
便利!!

2. 手順

- ①バケツの底にボカシをひとつかみ平らに敷く。
- ②水気をよくきった生ゴミをバケツに入れる。
でた生ゴミはその日のうちに!!
- ③ボカシをふりかける。
野菜が多い………10g(ひとつかみが10g位)
肉や魚が多い………20g
めやす:冬は10g 夏は20g
- ④バケツがいっぱいになるまで、②～③をくりかえす。
※しばらくすると、
★バケツの底に黄色の液(液肥)がたまるので、毎日ぬく。液肥は、利用できる。(裏面に注目)
★ふたがふくらんだら、ふたをあけてガス抜き。
★臭いが気になるようなら、ボカシをもうひとつかみ。
- ⑤いっぱいになったら、密閉をし、日かげにおく。
夏は、1週間～10日 冬は2週間程度
- ⑥ぬか漬けのような酸味のある臭いがすれば、**大成功!!**
※生ゴミの量や形はあまり変わらない。
※生ゴミ堆肥は、いったん土に入れると、急速に発酵分解、15～30日で土に還元する。



〔ボカシの保管方法〕

- ・できるだけ3ヶ月以内に使うと良い。
- ・まれに白いカビが生えることがありますが、商品に影響がありませんので、続けてご使用下さい。(白カビは、ボカシを作る時に使用するEM菌に存在する放線菌の糸状菌。)
- ・青や黒のカビが発生して悪臭がしたら、ボカシの効果がなくなります。新しい商品と交換させていただきますので、お手数ですが授産所までご連絡ください。

★湿気をもたせない★直射日光にあてない

〔生ゴミ堆肥の利用方法〕

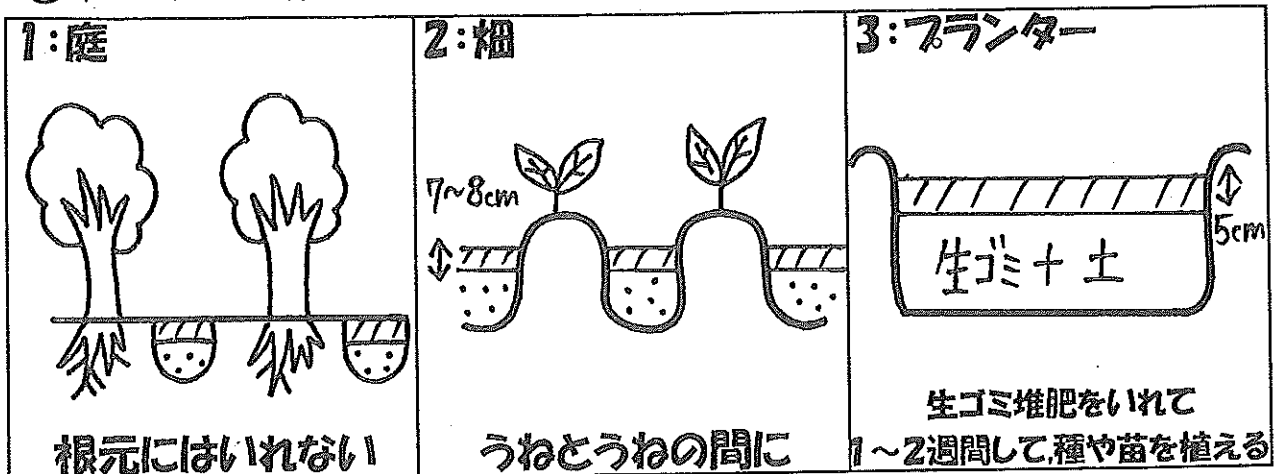
1:庭……所々に穴を掘って埋める。
(酸性が強いのので、根元に入れない)

2:畑……うねとうねの間に入れ、7~8cm程度の土をのる。

3:プランター……①シャベルで生ゴミ堆肥と土をよく混ぜる。
②プランターの下の層に①を埋め、その上に5cm程度の土をかぶせる。
(雨がかからないように、ビニール等で覆っておくほうが、よく発酵する)

① マークは土

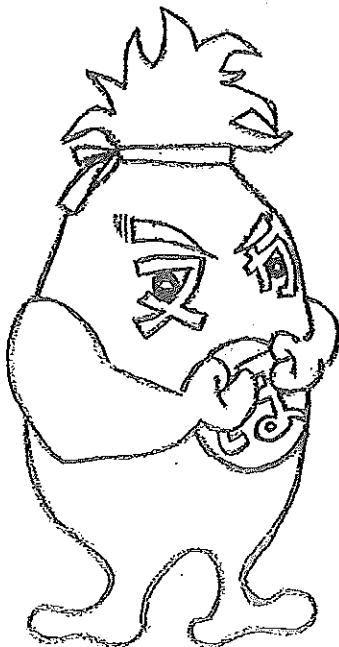
② マークは生ゴミ堆肥



〔液肥の利用方法〕

- ☆ コップ1杯をトイレに流す⇒臭いが消えて、便器の黄ばみも取れる
- ☆ 10倍に薄めて、台所に流す⇒配水管がきれいになる
- ☆ 1000倍に薄めて、作物にかける⇒成長がよくなる
- ☆ 池に流す⇒澄んだきれいなみず！！

※液肥の保存は難しいので、その日のうちに使いきるのが良い。
(日が経つと、悪臭がしてくる)



お気づきの点がありましたら、ご連絡下さい！！

特定非営利活動法人 **サンサンいわた(あゆみ)**

〒438-0232 磐田市川袋700-2

TEL. 0538-66-6354

FAX. 0538-66-6733